

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

http://nssk-kobeshoten.org/ FAX (078) 361-4539

口座振替 01110-2-10517

2018年4月 復活節

祝 御 復 活

あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、
上にあるものを求めなさい。(コロサイの信徒への手紙3:1)

司祭 ミカエル 小南 晃

今年の復活日は4月1日、丁度
年度初めの日となっています。

学生や生徒にとっては新学年
を迎え、心機一転した思いでこの
日を迎えていることと思います。
また例年になく早い桜の満開も
重なって、今年のイースターは何
か心浮き立ち、喜びと希望に溢れ
る思いが一層募るようで、ごく自
然に「おめでとう」という挨拶を
交わしたくなるように思います。

そして主イエス・キリストのよ
みがえりを記念する復活日・イー
スターを新しい気持ちで迎える
ということはまさにふさわしい
ことでもあります。それは主イエ
ス・キリストのご復活によって、
全く新しい世界がもたらされた
からです。

イエスの弟子たちは復活の主
との出会いにより、復活がまぎれ
もない真実であることを知らさ
れました。その使信は彼らを恐れ
と絶望から解き放ち、迫害や殉教
さえものともせず、喜びと希望
に溢れて、この福音を携えて世界
へと宣べ伝えて行ったのでした。

十字架の死からの復活

ところで、今、満開の桜の下
でごく自然に「おめでとう」と
挨拶したくなると申しましたが、
しかし春爛漫の心浮き立つ思い
と、主イエス・キリストのご復

活を祝う喜びとは本来、質的に
は異なるものです。

主イエス・キリストのご復活
において大切なのは、十字架に
つけられて死んだ、その主が復
活されたということです。そし
て主が十字架につけられ、死な
れたのは、私たちの罪を全て贖
って下さるためであったこと、
そして主の御復活によって、私
たちに永遠の命への道が開かれ
たということ、そこにこそ喜び
祝うべきものがあります。

パウロは最も大切な福音につ
いて「キリストが、聖書に書い
てある通りわたしたちの罪のた
めに死んだこと、葬られたこと、
また聖書に書いてある通り三日
目に復活したこと、ケファに現
れ、その後12人に現れたこと
です(1コリント15:3-5)」。
そしてこのことについて「しっ
かり覚えていれば、あなたがた
はこの福音によって救われます
(1コリント15:2)」と教えて
います。そしてまた「わたした
ちは、キリストと共に死んだの
なら、キリストと共に生きるこ
ともなる(ロマ6:8)」と信
じるものです。

桜は暖いまま過ごしていたの
では開花しないとのこと。す
「休眠打破」という現象だそう
ですが、蕾が冬の間、十分に冷

え込みにさらされて初めて開花
するそうです。桜もまた言わば
試練、十字架を経験してこそ美
しく咲くのでしょう。

新しい生き方を目指して

復活の喜びはその背後に私た
ち人間の置かれた救いのない状
況、自らの罪故に滅びてしまう
他はないという自覚、また愛す
る者の死に悲しむ者や人間が無
力で死すべき運命から逃れられ
ないことを痛感している時にこ
そ、復活のメッセージはより一
層喜びに溢れた希望のメッセ
ージとなる筈です。

そして主イエス・キリストの復
活によって与えられている生き
方とは「あなたがたは、キリス
トと共に復活させられたのです
から、上にあるものを求めなさい。
そこでは、キリストが神の右の座
に着いておられます。上にあるも
のに心を留め、地上のものに心を
引かれないようにしなさい」とい
うものです。キリストの復活を信
じる信仰によって、私たちは
日々古き人に死に、日々新たに
生きるように召されています。
古き人に留まるとは、即ち自分
自身の執着、しがみつきのよ
うして過去の罪の内に留まること
です。それは墓に留まり繋がれる
ことに他なりません。主イエス・キ
リストのご復活はそこから私
たちを解放するものです。

主イエス・キリストのご復活
を祝う、このよき時にあたって、
私たちも主の十字架と復活に与
りながら、さらに日々新たにさ
れて主の導きのもと、永遠の命
の道へと歩んで参りましょう。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後5時 夕の礼拝

水 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)